

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。  
(メール tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/)

# 建交労 **の** とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03(3820)8644(代)  
fax 03(3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円(〒60円)



17名の仲間が討論に参加し、活気溢れる大会となりました



大会冒頭で挨拶する松田執行委員長

「責任力」を謳った自公政府は総選挙の結果、国民から明確に「ノー」と突きつけられ、歴史的な惨敗を喫して政権の座から退きました。自公政治が終結し新政権が発足するなかで、ますます建設的野党の役割が重要となってきました。それらの情勢を背景に、2009年9月6日(日)東京しごとセンター地下講堂で建交労東京都本部第11回定期大会を開催し、126人の参加で行われ、一年間の闘う方針を確立しまし

た。大会の冒頭、7月9日に亡くなられた門川久雄副委員長へ黙祷を捧げ、議事に移りました。今年の大会スローガンは「建交労の総合力を発揮し、要求闘争と組織拡大に全力をあげよう」です。岩山書記長は09年度活動方針(案)の五つのキーワードとして

一、団塊の世代から若い世代交代へ。二、職場問題対応力と企業内主義克服。三、安全・安心の建設産業。四、仕事興し。五、中小企業の労使共同を提案し、更に組

合員と組織のレベルアップ、関連企業や非正規労働者の組織化、OBオルグ団の設立などの方針を打ち出しました。午後からは、17名の代議員から報告や意見が活発に展開されました。その後、松田委員長がまとめを行い、運動方針・スト権役員改選、及びに大会宣言・争議支援特別決議・トラック最賃法制化の実現を求める決議も含め、全代議員のもと今年一年の方針を満場一致で採択しました。最後に松田委員長の団結方

- ンパローで、無事に第11回定期大会が閉会に至りました。
- 世代交代の潮流の中、長年にわたり労働運動に携わってきた先輩方が定年を機に引退する一方、
- 【塚本岳志執行委員長】
- 副委員長：小林 弘明 (再任)
- 副委員長：中島 均 (再任)
- 副委員長：遠藤 晃 (新任)
- 書記長：石川 栄一 (新任)
- 書記次長：石川 栄一 (再任)
- 東部支部 (再任)
- 鉄道・東京地本 (再任)

## 都本部定期大会第一一回定期大会開催される 一二六名の参加で大成功、要求闘争・組織拡大に尽力し組合員学習・レクリエーションを強化する等の運動方針を決定

建交労結成十年の節目となる第一回全国大会が8月29日(31日)の日程で新潟県越後湯沢で開催された。この大会は総選挙と日程が重なり、これまでになく歴史的な大会となった。大会では赤羽書記長からこれまでの単産合同から現在までの到達点と課題、さらにこれから建交労がめざす運動方針と当面、取り組まれる秋季年末闘争での年末一時金獲得と組織拡大の取り組みが提起された。その後、全国の組合員から運動方針に対する質問をはじめ、78名(他3名が文書発言)から積極的な発言が行われ、特に現在の労働者・国民を取り巻く状況



全国大会参加者で仲良く記念撮影

## 全国大会開催 都本部機関紙「建交労とうきょう」が審査員特別賞受賞



機関紙コンクールで審査員特別賞に選ばれました



の中で建交労の必要性やさらなる発展を求める発言が数多く報告された。最後に提起された各議案の採択が行われ、佐藤委員長の団結カンパローで大会は終了しました。今大会は建交労結成十年が経過し、提起された運動方針を全組合員で取り組み、建交労のさらなる飛躍を確認する大会となりました。また、大会の中では機関紙コンクールが行われ、都本部の機関紙「建交労とうきょう」が審査員特別賞を受賞しました。

【中島均副執行委員長発】

# 原水爆禁止2009年 世界大会・長崎参加レポート

## いしずえ分会 村上久美子委員長からの報告



オバマ大統領のプラハ演説、原爆症認定集団訴訟の国との和解後に行われた歴史的な世界大会となりました

8月7～9日、原水爆禁止世界大会参加のため長崎に行ってきました。建交東京からは遠藤さんと二人で参加です。

初日は羽田空港から福岡空港へ、そこからバスで長崎へ向かいました。九州自動車道は直前の大雨で福岡～太宰府間が不通。重ねての渋滞で予定

時間を大幅に遅れての到着となり、会場は既に満員。開会式は第2会場で行いました。神と原爆は長崎県本部の皆さんが苦勞して入手してくれた貴重な映像です。同じ被災地でも広島とは違う長崎の状況、アメリカが原爆投下後に市民の気持ち

を踏みにじってきた数々の事実。そして原爆投下に対するカトリック信者の受け止めは私には意外なものでした。この番組のDVDは、長崎県本部の藤原さんの尽力で現在都本部にあります。ぜひ観てください。

3日目閉会式は早くから会場入りし、2階最前列から参加しました。今年大会には例年を大きく越え7800人が参加し

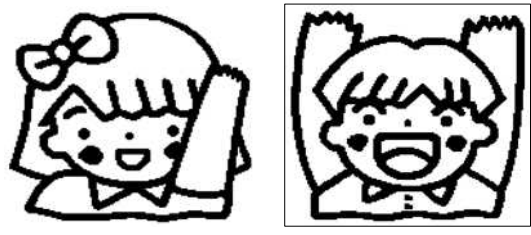
分科会終了後は、「建交労交流会」へ。同じ分科会会場にいた島根の多田さんに長崎県本部へ案内してもらいました。30名ほどが参加

した。長崎放送製作「神と原爆」をみんなで観てから地域ごとに自己紹介を行いました。「神と原爆」は長崎県本部の皆さんが苦勞して入手してくれた貴重な映像です。同じ被災地でも広島とは違う長崎の状況、アメリカが原爆投下後に市民の気持ち

ていると報告がされました。オバマ大統領のプラハ演説を契機に、今こそ核兵器廃絶への動きを考えた人が多くいることに確信を持ちました。大会直前の6日には原爆症認定集団訴訟の解決に向けた確認書が麻生首相と原告との間で交わされ、集団訴訟が終了しました。被爆者からは各々その経過が報告され、更に核兵器のない世界の実現までがんばり抜く決意が語られました。各国からの参加者からは、核兵器のない世界の実現への決意と、日本の果たす役割への期待が様々に述べられました。熱気と感動にあふれた閉会式でした。



長崎県本部に集まった 世界大会参加の全国各地の建交労の仲間



### 組合掲示板

- 10月1日 鉄道1の日宣伝
- 10月1日 労働法制中央連絡会総会
- 10月1日～4日組織拡大第1次集中ゾーン
- 10月2日 タングステンカーバイド埼玉地裁
- 10月2日 東京トラック部会総会
- 10月3日 門川さんしのぶ会
- 10月3日～4日 働く女性の中央集会
- 10月6日 高齢者部会
- 10月7日～8日関東地方協議会
- 10月10日 全国青年部総会
- 10月16日 第1回4役会議 常任執行委員会
- 10月17日～18日 全国事業団高齢者運動集会1
- 10月18日 東京労連定期大会
- 10月23日 国民春闘共闘総会
- 10月24日 女性部委員会
- 10月27日 東京高齢者大会

## 11・15 安心して働きたい 東京のつと

格差社会はごめんだ!

参加費 無料

第13回

雇用・生活・平和 学ぼう! 私たちの働く権利

●講演 「差別と戦争をなくすために～おしばいとおはなし～」  
講師 有馬理恵(女優)

●学習 「非正規労働者と労働法」(仮題)  
講師 笹山尚人(弁護士)

●ミニコンサート 八重樫節子さん (ソプラノ歌手)

●各分野・職場から 各組合のたたかい、リレートーク等

主催 安心して働きたい11・15東京のつと実行委員会  
連絡先 東京地評/東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館6階  
TEL 03-5395-3171 FAX 03-5395-3240